

## 令和6年度第3回吉田町部活動の在り方協議会

1 日 時 令和7年3月10日(月) 15時00分～16時30分

2 場 所 吉田町役場2階町民ホール

3 進 行 学校教育課

4 次 第

(1) 教育長あいさつ

(2) 議 事

ア 先進地訪問(吉田町教育委員会視察研修)の報告

イ 休日における地域クラブの名称について

ウ 今後の予定(案)について

5 委員からの質問及び意見等

(1) 先進地訪問(吉田町教育委員会視察研修)の報告

- ・(研修参加者)大会のコーディネートやマネジメントをうまくやった方がうまくいくという報告を受けた。
- ・(研修参加者)コーディネーターの思いが大事であると思う。
- ・(研修参加者)指導者は高齢者であり、部活動指導員として任用。平日も指導しているため、休日の移行(展開)もスムーズにしている。
- ・(研修参加者)大会参加の事務は顧問教員と連携をとっている。
- ・(研修参加者)小学生のスポーツ少年団入団者が中学生になって部活動へと一貫した指導を受けられるようになったとのこと。
- ・地域の指導者をうまく活用している。
- ・中学校の顧問が部活動指導をすることは将来なくなるのか?  
→兼職兼業許可を得て、教員が地域指導者として従事することとなる。国は校長が教員に対して顧問としての勤務を命令することはできないとしている。
- ・大会の運営を行う方がいなくなるという懸念があるが?  
→大会主催者側から報酬を支払って教員に依頼をすることが推測される。
- ・指導者の報酬単価について、朝日町は安価と感じるが、静岡県ではこの金額ではやっていただけの方はいないと思われるが?  
→朝日町は、ボランティアに近い形で指導に従事している。
- ・朝日町の人口と中学校生徒数は?  
→人口:10,327人 生徒数:204名
- ・サッカー部がない理由は?競技により指導者の必要人数が変わってくると思うが、指導者は何名?  
→サッカー部がない理由は、朝日町の事情によるものと思われる。指導者の人数は部活動指導員6名・スポーツエキスパート4名・文化系外部指導者2名
- ・指導者報酬の財源は、各種目の団体によってしっかりと価格設定をした上で確保することが必要。指導者の数等により価格が異なるのは当然。行政にまかせきりにしてしっかりと財源を確保しない団体は衰退してしまう。

(2) 休日における地域クラブの名称について

- ・よし活クラブでよいと思う。

「よし活クラブ」で決定

(3) 今後の予定(案)について

- ・指導者報酬の決定も必要と思うが、4から6月で決めるのは困難と思うが？  
→他市町を参考に、吉田町の事情も考慮して決定する。
- ・地域クラブ指導者について、個人的に紹介しても良いか？ちいさな理科館で科学部のような活動ができるのではないかと考えている。  
→ぜひ、事務局に教えていただきたい。
- ・進捗状況や指導者募集について、広く発信をしていただきたい。  
→5月に広報掲載予定であるため、指導者募集記事についても検討する。
- ・もし、指導者の複数応募があったらどうするか？  
→適任者選任について課題である。
- ・コーディネーターの役割が重要であるが、どのような方を任用するか構想があるか？  
→学校教育に理解がある方、地域との連携がとれる方を任用する予定。
- ・受益者負担がどうなるかが気になっている。年末あたりに決まってくると思うが。  
→経済的な理由でクラブに参加できないという状況は避けたい。
- ・吉田中学校では、学校の部費だけでなく、保護者から集めている。地域クラブ開設後、保護者負担をどのように整理していくのが課題。
- ・国の補助金の情報も収集する。
- ・吹奏楽については、特に大型の楽器は高騰である。
- ・保護者としては、部活動より地域クラブへの移行によって経費が上がってしまうと負担が増えるため、うまく調整していただきたい。
- ・備品の管理方法、指導者・参加者等の連絡方法もマニュアルに入れた方が良い。
- ・若い方(大学生等)を指導者として任用するとよい。高校生など、様々な年代の指導者を任用するとよい。スポーツ指導者が引率し、高校生が指導するなど、中学生に近い年代の若い力を活用してほしい。
- ・沼津市・焼津市・藤枝市→スポーツ庁の補助金を活用している。

(4) その他意見等

- ・地域クラブに移行すると、子供達の体力不足が懸念。クラブが参加できる大会の事務局はあるのか？  
→中体連のルールが今後変わってくると思われる。クラブ名で参加するなど。
- ・決定事項の広報をお願いしたい。

# 休日における地域クラブの名称について

## 1 地域クラブ名称投票アンケートの実施について

令和6年11月に実施した部活動地域移行アンケートにより募集した地域クラブの名称について、投票アンケートによりさらに候補を数点に絞り、第3回吉田町部活動の在り方協議会において協議するための資料とすることを目的として、地域クラブ名称投票アンケートを令和7年2月上旬回答期限として1月上旬に実施した。

## 2 対象者（手段）

- (1) 町内小・中学校県費負担教職員(クムブ ックグーグ ルフォーム)
- (2) 小学校4～6年生児童(クムブ ックグーグ ルフォーム)
- (3) 吉田中学校全学年生徒(クムブ ックグーグ ルフォーム)
- (4) 小学校4～6年生児童及び吉田中学校生徒の保護者(きずなネットグーグ ルフォーム)

## 3 質問内容

部活動地域移行アンケートにより募集した地域クラブの名称について、回答者の案を参考として事務局が考案した以下5つの候補による投票を行った。

事務局案については、「地域クラブへの移行の基本的な考え方」の3つの柱である「生徒の主体的活動」「楽しむ活動」「持続可能な活動」をイメージした名称とした。

- (1) アクティブよしだ
- (2) エンジョイよしだ
- (3) ジョイティブよしだ
- (4) チャレンジよしだ
- (5) よし活クラブ

#### 4 集計結果

対象者	名称案	アクティブよした	エンジョイよした	ジョイティブよした	チャレンジよした	よし活クラブ
教職員		28	15	6	13	25
児童 (4～6年生)		66	127	24	211	202
生徒		63	61	55	39	147
児童・生徒 の保護者		110	67	49	45	83
計		267	270	134	308	457

順位	4	3	5	2	1
----	---	---	---	---	---